

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」藤沢校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	パーティションにより個々の活動空間を確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	4	0	児童指導員2名と保育士1名（常勤）を配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	建物内はバリアフリーとなっている。 児童利用者の増加に伴い、危険個所の再確認を行い、必要なものをそろえているところである。	引き続き、確認を行っていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	毎日室内の清掃、毎時間教具や机等の消毒を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	日頃から職員どうしで話し合いをしている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	年度ごとに行っている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	年度ごとに行っている。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	社内で内部監査・評価を行っている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	研修や事例検討会が実施されている。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	定期的にモニタリングを行ったり、ニーズの再確認をしたりしている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	設定されている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	計画を見ながらプログラムを立てている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	支援者全員で相談しながら行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	その時に必要な活動プログラムになるよう心掛けている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	0	月一回、小集団療育を実施している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	空き時間で必要な情報の共有を心がけている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	空き時間で必要な情報の共有を心がけている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	記録を漏れなく書き、口頭でも確認し、検証・改善を行っている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	全員参加の体制でモニタリングを実施している。	
	関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	児発管が連携に参画している。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	連携できる体制を整えている。	

保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2	協力医と連携をとっている。現在該当する方の利用はない。	連携をとる体制は整えている。必要に応じて対応させていただく。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	2	協力医と連携をとっている。現在該当する方の利用はない。	連携をとる体制は整えている。必要に応じて対応させていただく。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3	保護者とのフィードバック時に園・学校等の様子をうかがっている。	保育所や園などと直接連携をとる体制は整えている。必要に応じて対応させていただく。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	保護者とのフィードバック時に園・学校等の様子をうかがっている。学校との連携や情報共有を実施している。	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	協力医や他の専門機関と連携をとるようにしている。	
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4	児童の通っている園と連携をとれるように努力している。	個別療育が基本のためそのような機会はないが、園や関係機関と連携をとれるようにしていく。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	2020年度はコロナの影響で実施が減っているが、児発達連絡会が開催される際には参加している。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	フィードバック時に共有するよう努めている。	
㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	0	フィードバック時に家庭で取り組めることをお伝えしたり、事業所内相談支援を行ったりしている。		

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時に丁寧な説明を心がけている。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	モニタリングや個別支援計画を作成する際、保護者に説明し同意を得ている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	フィードバック時や事業所内相談支援等で保護者の方のお話を伺っている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	コロナの影響で開催の検討ができていない。	コロナの感染状況が落ち着いたら、開催を検討する。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	受けた相談はなるべく早期対応ができるように情報共有している。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	ブログや事業所内広報、LINE等でお知らせを発信している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	個人情報はファイル管理したうえで施錠できる書庫で管理保管している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	担当制ではないため、毎回職員間で支援内容や日々の生活について情報共有している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	今年度はコロナのため、外部に向けたイベントの告知はしていない。	コロナの感染状況が落ち着いたら、開催を検討する。
非常時等	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	月に1回防災訓練を実施している。計画書・報告書を掲示し、周知している。	

の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	月に1回防災訓練を実施している	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	基本情報シートに記入を面談時に記入していただき、確認している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	4	初回面談時・契約時に確認している。飲食物の提供をしないため、特に対応していない。	引き続き、面談時に必ず確認し、食物以外のアレルギーについても留意する。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	職員間で作成・共有し、改善策を話し合っている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	校舎内で定期的に研修を行っている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	契約時に保護者の方に説明をし、了解を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」藤沢校      保護者等数（児童数）：16   回収数：14   割合：87.5 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	0	ハイハイするには十分なスペースがある。広い部屋で走り回らせてもらっている。	お子様の活動に合わせ、スペースを確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2	0	2		児童指導員2名と保育士1名（常勤）を配置しています。それぞれの専門性について、お伝えしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	0	1	2		建物内はバリアフリーになっています。利用するお子様に合わせ、必要な設備を検討します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12	1	0	1		少なくとも6か月に一度、個別支援計画の見直しを行っています。疑問点・ご意見がある際はご遠慮なくお尋ねください。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	6		個別支援計画の説明の際に、それぞれの項目について丁寧な説明を心がけます。

	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1	0	1		支援計画に沿った支援を行いながら、計画の見直しが必要となった場合はお話しするお時間を設けます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1	0	1		お子様に合わせてプログラムを工夫しています。ご意見を伺いながら丁寧なプログラム設定を心がけます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	0	4	6		現状、そのような機会を設けていません。保護者様のご要望に応じて、園や関係機関と連携を実施し、集団の中でのお子様の様子を個別支援計画に反映します。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	0	0	1		契約時や計画更新時に説明をしています。ご不明な点がありましたらお問い合わせください。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	6	1	2		フィードバック時に家庭で取り組めることをお伝えしています。必要に応じて事業所内相談支援を実施しています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	3	1	0		課題の共有ができていないか不安がある。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1	0	4		初回以降面談の設定がないのでわからない。
								面談は少なくとも6ヶ月に一度のモニタリング時、個別支援計画更新の

							時に実施していません。更新時期ではなくとも、面談を実施することはできますので、お声がけいただけると幸いです。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	5	6	コロナの影響で今年度の実施はできませんでした。次年度以降、開催を検討します。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	0	0	2	ご要望・ご相談に関しては迅速かつ丁寧な対応を心がけております。ご要望に沿って対応できるように努めます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1	0	2	母子同室で、相談しやすい環境にあると思う。 支援前後の時間に情報共有をしています。電話・メール・LINE等、より良い方法を提案できるように努めます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	0	0	5	ブログや事業所内広報、LINE等でお知らせを発信しています。ご不明点がありましたら、お問い合わせください。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12	1	0	1	個人情報ファイル管理したうえで施錠できる書庫で管理保管しています。その他の場面での情報の扱いにも注意します。
非常時等の	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	0	0	3	まだ訓練はしたことがないが説明は聞いた。 各マニュアル、防災訓練計画書・報告書を掲示しています。訓練をやったことがない利用者様もいらっしゃるので、実施でき



対応								るようにしていきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	0	0	5		月に一回、校舎内防災訓練を行っています。また、半年に一度、ビル全体の防災訓練にも参加しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2	0	0	昼寝の時間とかぶってしまう。 本人がすごく気に入っていて、楽しく集中して学べると思う。	引き続き、お子様にとってより良い通所時間になるよう調整させていただきます。 楽しみながら学べる課題・プログラムを考えていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	10	3	0	1	まだ通い始めたばかりなので何とも言えない。	通い慣れてからも気になることや不明点があればご相談ください。ご要望にお応えできるよう努めます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。